

2014年(平成26年)

10月28日号

No.1112

毎週火曜日発行

1部350円・1カ月1,260円(税込)

www.asahikawa-np.com

WEEKLY ASAHIKAWA

# あさひかわ新聞

発行所 北のまち新聞社 TEL27-1577 FAX27-1617

〒070-0038 旭川市8条通6丁目2480-1

旭川藤女子高校(水野清哉校長)のUレコースの三年生と、市内や札幌の留学生たちによる英語での討論会が二十三日(木)、同校で開かれた。

同校Uレコースの生徒たちは、国際問題を一年間かけて研究している。討論会は国際的視野を広げるために毎年開催している。

テーマは「Education to Build a Better World」(教育、より良い世界をつくるために)。Uレコースで学ぶ三年生二十一人と、ヨーロッパ、アジア、アメリカや南米などの留学生十一人が、国際的視野を得ること、他民族と共存す

## 留学生たちと英語で討論



留学生と流暢な英語で討論する生徒たち

今回の討論の内容は、十一月九日(日)に鷹栖地区住民センター(鷹栖町北一ノ三)で行われる「ほんものヴィレッジ」でも、同校生徒が発表する予定だ。(関連14画)

## 旭藤女子高Uレコース

ること、発展途上国の自立などの世界が抱える問題について、「教育」による解決方法を軸に英語で発表した。その後、四グループに分かれて英語でディスカッションをとることが必要に、教育の普及が必要」と議論を総括した。

カッションした。ディスカッションの問題について、「教育」による解決方法を軸に英語で発表した。その後、「他民族や国を尊重し、コミュニケーションをとることが必要」

「すべての国が、それぞれ自立して行くために、教育の普及が必要」と議論を総括した。

境にやさしいライフスタイルを提案する「北海道ほんものヴィレッジ」が十一月九日(日)午前十時から午後四時まで、鷹栖地区住民センター(北一ノ三)で開催されます。実行委員会(横山アテナ委員長)の主催です。

料理研究家による体験講座のほか、化学調味料やマーガリン、人工甘味料・着色料などを一切使用していない食品の販売、伝統的な技術や知恵を受け継いだものづくりなどのワークショップも開かれます。

事務局の横山アテナさんは「二回目の開催

## こころとからだ、環境にやさしい生活を「ほんものヴィレッジ」開催

です。上川管内を中心に活動しているほんものを追求する人たちが来場者の絆づくりが目的です。次の世代に引き継ぐべき、ほんものを分かち合いたいと思います。たくさんの方たちの来場をお待ちしています」とPRしています。

ワークショップはそれぞれ参加費や定員、開催時間が異なります。



す。事前の申し込みが必要なものもあります。詳しくは<https://www.facebook.com/Hokkaido.Honmono.Village>を検索してください。入場無料、雨天決行です。

問い合わせは横山アテナさん(☎090-7514-7752、午前十時〜午後八時)へ。